

ジュンサイの浮葉と地下茎の動態 (要旨)

國井秀伸*

Hidenobu Kunii: Leaf and rhizome dynamics in *Brasenia schreberi*

楢円の浮葉を水面に浮かべて水辺を彩るジュンサイ (*Brasenia schreberi* J. F. Gmel.) の、浮葉の寿命と回転率、そして地下茎の伸長率や寿命などに関して、マーキング法により3年以上にわたる野外観察を島根県松江市のため池で行なった。

表1は浮葉の動態に関する結果をまとめたものである。年最大現存量、最大葉面積指数および純生産量は年ごとの変動が大きかったのに対し、回転率(成育期間の日数を浮葉の平均寿命で割った値および年純生産量を年最大現存量で割った値)は、観察した3年間でそれぞれ6.0から6.3の間および3前後とほぼ一定の値を示し、浮葉の平均寿命も約25日から28日の間で変動の幅が小さかった。

地下茎に関しては、野外における当年生の地下茎で翌年まで生残する率は40%以下であり、3年より長く見られたものはほとんどなかった(図1)。この結果から地下茎の期待寿命は1.5年と推定された。大学内の水槽における観察でもほぼ同様の結果を得た。

以上の結果のうち、浮葉に関しては単年度の結果を国井・荒巻(1987)に予報として、地下茎に関してはKunii(1993)に発表しているので参考にしてほしい。

國井秀伸・荒巻 稔(1987) ヒツジグサとジュンサイの浮葉の動態(予報).
水草研究会報 29: 24-26.

*島根大学汽水域研究センター

Kunii, H. (1993) Rhizome longevity in two floating-leaved aquatic macrophytes, *Nymphaea tetragona* and *Brasenia schreberi*. J. Aquat. Plant Manage. 31: 94-98.

表1 島根県松江市のため池(円木池)におけるジュンサイの浮葉の寿命と生産量などの1986年から1988年にかけての特性

観 察 年	1986	1987	1988
年平均寿命(日)	25.5	28.3	約24.5
回転率	6.0	6.3	約 6.3
Pn/B _{max}	3.03	3.25	2.95
葉面積指数	1.4	1.2	0.9
最大現存量(g乾重/m ²)	80.5	72.6	52.5
純生産量(g乾重/m ² /年)	243.5	236.3	154.9

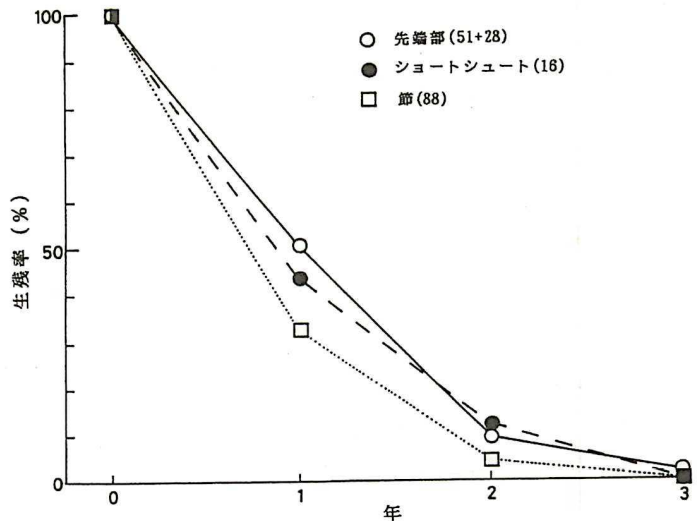


図1 ため池で観察されたジュンサイ各器官の生残率の時間的変化。結果は1987年と1988年の合計(カッコ内の数)の割合で示してある。Kunii(1993)より引用。